



Dominion® KSX II

クイック ステップ ガイド

KSX II をご購入いただきありがとうございます。多彩な機能を備えた、エンタープライズクラスのセキュア デジタル KVM (キーボード/ビデオ/マウス) スイッチおよびシリアル コンソール スイッチです。

このクイック セットアップ ガイドでは、KSX II のインストール方法と設定方法について説明します。KSX II の機能に関する詳細については、KSX II のユーザ ガイドを参照してください。ユーザ ガイドは Raritan の Web サイトの「Firmware and Documentation」セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) からダウンロードできます。

ステップ 1: KVM ターゲット サーバを設定する

Windows®, Linux®, X-Windows、Solaris™、KDE などのグラフィカル ユーザ インタフェースを実行する KVM ターゲット サーバは、帯域幅効率とビデオ パフォーマンスを最適化するための設定が必要です。デスクトップの背景は完全な無地にする必要はありませんが、写真や複雑な配色の背景を使用すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

サーバのビデオ解像度とリフレッシュ レートが KSX II でサポートされていることと、信号がノンインタレースであることを確認します。KSX II でサポートされている画面解像度は次のとおりです。

解像度	
640x350、70Hz	1024x768、85
640x350、85Hz	1024x768、75Hz
640x400、56Hz	1024x768、90Hz
640x400、84Hz	1024x768、100Hz
640x400、85Hz	1152x864、60Hz
640x480、60Hz	1152x864、70Hz
640x480、66.6Hz	1152x864、75Hz
640x480、72Hz	1152x864、85Hz
640x480、75Hz	1152x870、75.1Hz
640x480、85Hz	1152x900、66Hz
720x400、70Hz	1152x900、76Hz
720x400、84Hz	1280x720、60Hz
720x400、85Hz	1280x960、60Hz

解像度	
800x600、56Hz	1280x960、85Hz
800x600、60Hz	1280x1024、60Hz
800x600、70Hz	1280x1024、75Hz
800x600、72Hz	1280x1024、85Hz
800x600、75Hz	1360x768、60Hz
800x600、85Hz	1366x768、60Hz
800x600、90Hz	1368x768、60Hz
800x600、100Hz	1400x1050、60Hz
832x624、75.1Hz	1440x900、60Hz
1024x768、60Hz	1600x1200、60Hz
1024x768、70	1680x1050、60Hz
1024x768、72	1920x1080、60Hz

マウス モード

KSX II は、次のマウス モードで動作します。

- ずれないマウス モード (Absolute Mouse Mode™) (D2CIM-VUSB のみ)
- インテリジェント マウス モード (アニメーション カーソルを使用しないでください)
- 標準マウス モード

ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) の場合は、マウス パラメータを変更する必要はありません。ただし、このモードを使用するには、D2CIM-VUSB または D2CIM-DVUSB が必要です。標準マウス モードとインテリジ

メント マウス モードの場合、マウス パラメータを特定の値に設定する必要があります (後述)。マウス設定は、ターゲットのオペレーティング システムによって異なります。詳細については、使用するオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

Windows XP、Windows 2003、および Windows 2008 の設定

▶ **Windows XP®、Windows 2003®、および Windows 2008® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**

1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
 - [動作] のオプションを無効にします。
 - [OK] (OK) をクリックします。
2. アニメーション効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [画面] オプションを選択します。
 - b. [デザイン] タブをクリックします。
 - [効果] ボタンをクリックします。
 - [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプションをオフにします。
3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

注: Windows XP、Windows 2000、または Windows 2008 を実行している KVM ターゲット サーバの場合、KSX II を介したリモート接続用に、専用のユーザ名を作成することが可能です。これにより、ターゲット サーバのマウス ポインタの速度や加速を KSX II 接続用に遅く設定できます。

Windows XP、2000、および 2008 のログイン ページでは、マウスのパラメータが、最適な KSX II パフォーマンス用に提案されたパラメータとは異なる、プリセットされたパラメータに戻ります。この結果、これらの画面ではマウスの同期は最適ではありません。

警告! Windows KVM ターゲット サーバのレジストリを調整してもかまわない場合のみ、次の操作を行ってください。

Windows レジストリ エディタを使って次の設定を変更することにより、ログイン ページで KSX II のマウスの同期を改善することができます。HKey_USERS\DEFAULT\Control Panel\Mouse:> MouseSpeed = 0、MouseThreshold 1=0、MouseThreshold 2=0。

Microsoft Windows 7 および Windows Vista の設定

▶ **Windows Vista® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**

1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. 左側のナビゲーション パネルから [システムの詳細設定] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - c. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - d. [速度] グループで、以下の操作を行います。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
 - [OK] をクリックします。
 2. アニメーション効果とフェード効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [システム] オプションを選択します。
 - b. [パフォーマンス情報] を選択し、[ツール]、[詳細ツール]、[調整] の順に選択し、Windows の外観とパフォーマンスを調整します。
 - c. [詳細設定] タブをクリックします。
 - d. [パフォーマンス] グループの [設定] ボタンをクリックして、[パフォーマンス オプション] ダイアログ ボックスを開きます。
 - e. [カスタム] オプションで、以下のチェック ボックスをオフにします。
 - アニメーション関連のオプション:
 - [Windows 内のアニメーション コントロールと要素]
 - [ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する]
 - フェード関連のオプション:
 - [メニューをフェードまたはスライドして表示する]
 - [ヒントをフェードまたはスライドで表示する]
 - [メニュー項目をクリック後にフェードアウトする]
 3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。
- ▶ **Windows 7® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**
1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[ハードウェアとサウンド]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。

- ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
 - [OK] をクリックします。
2. アニメーション効果とフェード効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル]、[システムとセキュリティ] を選択します。
 - b. [システム] を選択し、左側のナビゲーション パネルから [システムの詳細設定] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - c. [詳細設定] タブをクリックします。
 - d. [パフォーマンス] グループの [設定] ボタンをクリックして、[パフォーマンス オプション] ダイアログ ボックスを開きます。
 - e. [カスタム] オプションで、以下のチェック ボックスをオフにします。
 - アニメーション関連のオプション:
 - [Windows 内のアニメーション コントロールと要素]
 - [ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する]
 - フェード関連のオプション:
 - [メニューをフェードまたはスライドして表示する]
 - [ヒントをフェードまたはスライドで表示する]
 - [メニュー項目をクリック後にフェードアウトする]
 3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

Windows 2000 の設定

- ▶ **Windows 2000® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには**
1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [Motion] (動作) タブをクリックします。
 - アクセラレーションを [なし] に設定します。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [OK] (OK) をクリックします。
 2. アニメーション効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [画面] オプションを選択します。
 - b. [効果] タブをクリックします。
 - [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプションをオフにします。
 3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

Linux の設定

- ▶ **Linux® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**
- (標準マウス モードのみ) マウスの加速値を正確に 1 に設定し、しきい値も正確に 1 に設定します。コマンド 「xset mouse 1 1」を入力します。このコマンドは、ログイン時の実行用に設定する必要があります。

Sun Solaris の設定

- ▶ **Sun® Solaris™ を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**
- 1. マウスの加速値を正確に 1 に設定し、しきい値も正確に 1 に設定します。
- 2. また、サポートされる解像度にビデオ カードが設定されており、出力が VGA (コンポジット Sync 以外) であることを確認します。

Apple Macintosh の設定

- ▶ **Apple Mac を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**

Apple Macintosh® オペレーティング システムを実行している KVM ターゲット サーバに対しては、D2CIM-VUSB およびずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) を使用する方法が推奨されます。

注: [USB Profile] (USB プロファイル) メニューまたは [Port Configuration] (ポート設定) ページから USB プロファイル [Mac OS-X, version 10.4.9 and later] (MAC OS X (10.4.9 以降)) を選択する必要があります。

IBM AIX の設定

- ▶ **IBM AIX® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。**
- [Style Manager] を開き、[マウスの設定] をクリックします。[マウスの加速] を 1.0 に設定し、[しきい値] を 3.0 に設定します。

ステップ 2: ネットワーク ファイアウォールの設定

KSX II へのリモート アクセスを有効にするには、ネットワークおよびファイアウォールにおいて、TCP ポート 5000 での通信が許可されている必要があります。なお、別の TCP ポートを使用するように KSX II を設定し、その TCP ポートでの通信を許可することもできます。

Web ブラウザで KSX II にアクセスできるようにするには、ファイアウォールで TCP ポート 443 (標準 HTTPS) へのアクセスも許可する必要があります。TCP ポート 80 (標準 HTTP) にアクセスすると、HTTP 要求が自動的に HTTPS にリダイレクトされます。

ステップ 3: 装置の接続

KSX II を、電源、ネットワーク、ローカル PC、KVM ターゲット サーバ、およびシリアル ターゲットに接続します。



A. AC 電源:

▶ 電源を接続するには、以下の手順に従います。

1. 付属の AC 電源コードを KSX II と AC 電源コンセントに接続します。

B. ネットワーク ポート

KSX II は、フェイルオーバー用に 2 つの Ethernet ポートを提供しています (負荷分散用ではない)。デフォルトでは LAN1 のみがアクティブで、自動フェイルオーバーは無効になっています。自動フェイルオーバーが有効な場合、KSX II の内部ネットワーク インタフェース、またはその接続先のネットワークが使用できなくなると、同じ IP アドレスで LAN2 が利用可能になります。

注: フェイルオーバー ポートは実際にフェイルオーバーが発生するまで有効にならないので、フェイル オーバ ポートを監視しないか、フェイルオーバーが発生した後にのみ監視するようにすることをお勧めします。

▶ ネットワークを接続するには、以下の手順に従います。

1. (付属の) 標準 Ethernet ケーブルを、「LAN1」のラベルの付いたネットワーク ポートから、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに接続します。
2. オプションの KSX II Ethernet フェイルオーバー機能を使用するには、以下の手順に従います。
 - 標準 Ethernet ケーブルを、「LAN2」のラベルの付いたネットワーク ポートから、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに接続します。
 - [Network Configuration] (ネットワーク設定) ページで [Enable Automatic Failover] (自動フェイルオーバーを有効にする) をオンにします。

注: 1 つをフェイルオーバー用のポートとして使用する場合のみ、ネットワーク ポートを 2 つ使用してください。

C. ローカル ユーザ ポート (ローカル PC) およびローカル管理ポート

KSX II のローカル アクセス ポートを使用することによって、ラックから KVM ターゲット サーバおよびシリアル デバイスに簡単にアクセスできます。ローカル ポートはインストールおよび設定に必要ですが、それ以降の使用についてはオプションです。ローカル ポートは、管理およびターゲット サーバへのアクセスのための KSX II ローカル コンソール グラフィカル ユーザ インタフェースを提供します。

▶ ローカル ユーザ ポートに接続するには、以下の手順に従います。

- マルチシンク VGA モニタ、キーボード、マウスを、対応するローカル ユーザ ポートに接続します (キーボードとマウスは、PS/2 または USB 互換のものを使用します)。

接続	説明
モニタ	標準マルチシンク VGA モニタを HD15 (メス) ビデオ ポートに接続します。
キーボード	標準 PS/2 キーボードを Mini-DIN6 (メス) キーボード ポートに接続するか、標準 USB キーボードを USB タイプ A (メス) ポートのいずれかに接続します。
マウス	標準 PS/2 マウスを Mini-DIN6 (メス) マウス ポートに接続するか、標準 USB マウスを USB タイプ A (メス) ポートのいずれかに接続します。

ローカル管理ポートを使用して KSX II をワークステーションに直接接続し、シリアル ターゲットを管理したり、HyperTerminal などのターミナル エミュレーション プログラムを使用してシステムを設定したりできます。ローカル管理ポートには、標準のヌル モデム ケーブルを使用する必要があります。

注: ローカルの承認と認証が [None] (なし) に設定されている場合、シリアル管理コンソールにログインするにはユーザ名を入力する必要があります。

D. KVM ターゲット サーバ ポート

KSX II は、標準 UTP ケーブル (Cat5/5e/6) を使用して各ターゲット サーバに接続します。

▶ KVM ターゲット サーバを KSX II に接続するには、以下の手順に従います。

1. 適切なコンピュータ インタフェース モジュール (CIM) を使用します。
2. お使いの CIM の HD15 ビデオ コネクタを KVM ターゲット サーバのビデオ ポートに接続します。ターゲット サーバのビデオが、サポートされている解像度と垂直走査周波数に設定されていることを確認します。Sun サーバの

場合は、ターゲット サーバのビデオ カードがコンポジット Sync ではなく標準 VGA (H-and-V Sync) を出力するように設定されていることも確認してください。

- お使いの CIM のキーボード/マウス コネクタを、ターゲット サーバの該当するポートに接続します。標準ストレート UTP (Cat5/5e/6) ケーブルを使って、CIM を KXS II デバイスの背面の使用可能なサーバ ポートに接続します。

注: DCIM-USB G2 の背面には小さいスライド型スイッチがあります。PC ベースの USB ターゲット サーバの場合はスイッチを P にします。Sun の USB ターゲット サーバの場合はスイッチを S にします。

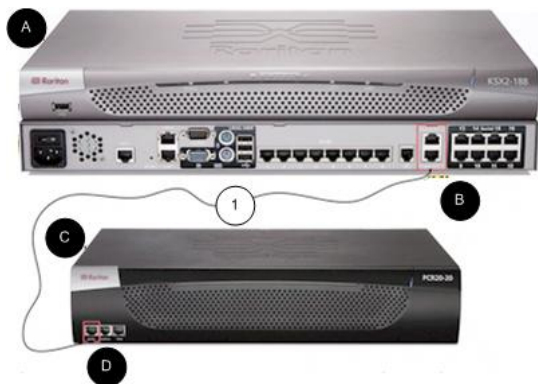
変更後のスイッチ位置が有効になるのは、CIM に給電し直した後です。CIM に給電し直すには、ターゲット サーバから USB コネクタをいったん取り外し、数秒経ってから再度取り付けます。

E. 電源タップ

▶ **Dominion PX を KXS II に接続するには、以下の手順に従います。**

- Cat5 ケーブルの一端を Dominion PX の前面にあるシリアル ポートに差し込みます。
- Cat5 ケーブルのもう一端を、KXS II の背面にある電源制御 1 または電源制御 2 に接続します。
- AC 電源コードをターゲット サーバと空いているラック PDU コンセントに接続します。
- ラック PDU を AC 電源に接続します。
- KXS II デバイスの電源をオンにします。

重要: CC-SG を使用している場合、電源ポート間で切り換えたラック PDU を取り付けるまで電源ポートは非アクティブです。これを完了していない場合、特に 8 および 20 のコンセントのラック PDU モデルを切り換えた後に、電源コンセントの数が正しく検出されない可能性があります。



図の説明

A	KXS II	D	PX シリアル ポート
B	KXS II の電源制御 1 または電源制御 2 ポート	1	Cat5 ケーブル
C	PX		

F. シリアル ターゲット ポート

シリアル ターゲットを KXS II に接続するには、適切なシリアル アダプタ付きの Cat5 ケーブルを使用してください。

KXS II を一般的なベンダ/モデルの組み合わせに接続するときに必要な KXS II ハードウェア (アダプタやケーブル) を次の表に示します。

ベンダ	デバイス	コンソール コネクタ	シリアル接続
チェックポイント	ファイアウォール	DB9M	ASCSD9B9F アダプタと CAT 5 ケーブル
Cisco	PIX ファイアウォール		
Cisco	Catalyst	RJ-45	CRLVR-15 ロールオーバー ケーブル、または CRLVR-1 アダプタケーブルと CAT5 ケーブル このコネクタを持つ KXS II-48 の各モデルのターミナル ポート (RJ-45 コネクタ タイプ) を別の KXS II に接続するための CRLVR-1 ケーブル。
Cisco	ルータ	DB25F	ASCSD9B25M アダプタと CAT 5 ケーブル
Hewlett Packard®	UNIX® サーバ	DB9M	ASCSD9B9F アダプタと CAT 5 ケーブル
Silicon Graphics	Origin		

ベンダ	デバイス	コンソール コネクタ	シリアル接続
Sun™	SPARCStation	DB25F	ASCSD25M アダプタと CAT 5 ケーブル
Sun	Netra T1	RJ-45	CRLVR-15 ケーブル、または CRLVR-1 アダプタと CAT5 ケーブル
Sun	Cobalt	DB9M	ASCSD9M アダプタと CAT 5 ケーブル
各種ベンダ	Windows NT®		

一般的に使用されるケーブルやアダプタの一覧については、Raritan の Web サイト (www.raritan.com) のサポート ページを参照してください。

ステップ 4: KSX II の設定

デフォルト パスワードを変更する

KSX II の出荷時には、デフォルトのパスワードが設定されています。KSX II を初めて起動したときは、このパスワードを変更する必要があります。

▶ **デフォルトのパスワードを変更するには、以下の手順に従います。**

- KSX II の背面にある電源スイッチをオンにします。KSX II が起動するまで待機します。(起動プロセスが完了すると、ビープ音が鳴ります)。
- 起動すると、KSX II のローカル ポートに接続されたモニタに KSX II ローカル コンソールが表示されます。デフォルトのユーザ名 (admin) とパスワード (raritan) を入力し、[Login] (ログイン) をクリックします。[Change Password] (パスワードの変更) 画面が表示されます。
- [Old Password] (旧パスワード) フィールドに古いパスワード (raritan) を入力します。
- [New Password] (新しいパスワード) フィールドに新しいパスワードを入力し、[Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを再入力します。パスワードには、英数字と印刷可能な特殊文字を 64 文字まで使用できます。
- [Apply] (適用) をクリックします。
- パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。

IP アドレスの割り当て

▶ **IP アドレスを割り当てるには、以下の手順に従います。**

- [Device Settings] (デバイス設定) の [Network] (ネットワーク) を選択します。[ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
- KSX II デバイスにわかりやすいデバイス名を指定します。最大 32 文字の英数字と有効な特殊文字を組み合わせて使用できます。スペースは使用できません。
- [IPv4] セクションで、適切な IPv4 固有のネットワーク設定を入力するか選択します。
 - 必要な場合は、[IP Address] (IP アドレス) を入力します。デフォルトの IP アドレスは「192.168.0.192」です。
 - [Subnet Mask] (サブネット マスク) を入力します。デフォルトのサブネット マスクは「255.255.255.0」です。
 - [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウンリストで [None] (設定しない) を選択する場合は、[Default Gateway] (デフォルト ゲートウェイ) を入力します。
 - [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウンリストで [DHCP] を選択する場合は、[Preferred DHCP Host Name] (優先 DHCP ホスト名) を入力します。
 - [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプションを使用できます。
 - [None] (設定しない) (静的 IP) - このオプションを選択した場合は、ネットワークの IP アドレスを手動で指定する必要があります。
 - KSX II はインフラストラクチャ デバイスであり、IP アドレスは変更されないため、このオプションを推奨します。
 - [DHCP] - DHCP サーバから一意の IP アドレスとその他のパラメータを取得するために、ネットワークに接続しているコンピュータ (クライアント) によって Dynamic Host Configuration Protocol が使用されます。このオプションを選択した場合、ネットワーク パラメータは DHCP サーバによって割り当てられます。DHCP を使用する場合は、[Preferred host name] (優先ホスト名) を入力します (DHCP のみ)。最大 63 文字まで使用できます。
- IPv6 を使用する場合は、[IPv6] セクションで、適切な IPv6 固有のネットワーク設定を入力するか、選択します。
 - セクション内のフィールドを有効にするには、[IPv6] チェックボックスをオンにします。
 - [Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス) を入力します。これは、KSX II に割り当てられる IP アドレスです。

- c. [Prefix Length] (固定長) を入力します。これは、IPv6 アドレスで使用されるビット数です。
- d. [Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス) を入力します。
- e. [Link-Local IP Address] (リンク - ローカル IP アドレス)。このアドレスは、自動的にデバイスに割り当てられます。これは、近隣探索で、またはルータが存在しない場合に使用されます。**[Read-Only] (読み取り専用)**
- f. [Zone ID]。これは、アドレスが関連付けられているデバイスを識別します。**[Read-Only] (読み取り専用)**
- g. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプションを使用できます。
 - [None] (設定しない) - 自動 IP 設定を使用せず、IP アドレスを自分で設定する場合は、このオプションを選択します (静的 IP)。推奨されるデフォルトのオプションです。
[IP auto configuration] (IP 自動設定) で [None] (設定しない) を選択すると、[Network Basic Settings] (ネットワーク基本設定) フィールド ([Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス)、[Prefix Length] (固定長)、[Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス)) が有効になり、IP アドレスを手動で設定できるようになります。
 - [Router Discovery] (ルータ検出) - このオプションを使用して、直接接続されるサブネットにのみ適用される [Link Local] (リンク ローカル) を超える [Global] (グローバル) または [Unique Local] (一意ローカル) を意味する IPv6 アドレスを自動的に割り当てます。
5. [DHCP] が選択され、[Obtain DNS Server Address] (DNS サーバ アドレスを取得) が有効になっている場合は、[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) を選択します。DNS サーバ アドレスが自動的に取得されると、DHCP サーバが提供する DNS 情報が使用されます。
6. [Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレスを使用) を選択する場合は、[DHCP] が選択されているかどうかにかかわらず、このセクションに入力されたアドレスが、DNS サーバの接続に使用されます。
[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレスを使用) オプションを選択する場合は、次の情報を入力します。これらのアドレスは、停電によりプライマリ DNS サーバ接続が切断された場合に使用されるプライマリおよびセカンダリ DNS アドレスです。
 - a. [Primary DNS Server IP Address] (プライマリ DNS サーバ IP アドレス)
 - b. [Secondary DNS Server IP Address] (セカンダリ DNS サーバ IP アドレス)
7. 完了したら [OK] をクリックします。これで、KSX II デバイスはネットワークにアクセスできます。

注: 一部の環境では、[LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) のデフォルトである [Autodetect] (自動検出) (自動ネゴシエーション) が選択されている場合にネットワーク パラメータが適切に設定されず、ネットワーク上の問題が発生する場合があります。そのような場合は、KSX II の [LAN Interface Speed & Duplex] (LAN インタフェースの速度と二重化) フィールドを [100 Mbps/Full Duplex] (またはネットワークに合ったオプション) に設定することで問題を解決できます。

ターゲット サーバの命名

KVM およびシリアル ターゲット名は、異なるポート ページ (KVM またはシリアル ポート ページ) で定義されますが、必要な手順は同じです。唯一の違いは、[Port Configuration] (ポート設定) ページから KVM ターゲットまたはシリアル ターゲットを選択して、該当するページにアクセスすることです。

▶ KVM ターゲット サーバおよびシリアル ターゲットに名前を付けるには、以下の手順に従います。

1. まだすべての KVM ターゲット サーバとシリアル ターゲットを接続していない場合は、接続します (「手順 1: 装置の接続」に従ってください)。
2. KSX II ローカル コンソールで、[Device Settings] (デバイス設定) の [Port Configuration] (ポート設定) を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
3. 名前を付ける KVM ターゲット サーバまたはシリアル ターゲットの名前をクリックします。[Port] (ポート) ページが開きます。[Port] (ポート) ページのフィールドは、KVM およびシリアル ターゲットによって異なります。
4. このポートに接続されているサーバまたはシリアル ターゲットを識別するための名前を割り当てます。名前には最大 32 文字の英数字と特殊文字を使用できます。
5. [OK] をクリックします。

ユーザ グループとユーザの作成

▶ 新規ユーザ グループを追加するには、以下の手順に従います。

1. [User Management] (ユーザ管理) の [Add New User Group] (ユーザ グループを新規に追加) を選択するかまたは [User Group List] (ユーザ グループ一覧) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックして、[Group] (グループ) ページを開きます。
[Group] (グループ) ページには、[Group] (グループ)、[Permissions] (権限)、[Port Permissions] (ポート使用権限)、[IP ACL] の 4 つのカテゴリがあります。
2. [Group Name] (グループ名) フィールドに、新しいユーザグループのわかりやすい名前 (最大 64 文字) を入力します。

3. グループの権限を設定します。このグループに属するすべてのユーザに対して割り当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにします。
4. [Port Permissions] (ポート使用権限) を設定します。このグループに属するユーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタイプ) を指定します。
5. IP ACL を設定します。この機能は、IP アドレスを指定することで、KSX II デバイスへのアクセスを制限します。この機能は、特定のグループに属するユーザにのみ適用されます。このデバイスに対するすべてのアクセス試行に適用され、優先される、IP アクセス制御リスト機能とは異なります。(オプション)
6. [OK] (OK) をクリックします。

▶ **新規ユーザを追加するには、以下の手順に従います。**

1. [User Management] (ユーザ管理) の [Add New User] (新規ユーザの追加) を選択するか、[User List] (ユーザ リスト) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックして、[User] (ユーザ) ページを開きます。
2. [Username] (ユーザ名) フィールドに、一意のユーザ名を入力します (最大 16 文字)。
3. [Full Name] (フル ネーム) フィールドに、ユーザのフルネームを入力します (最大 64 文字)。
4. [Password] (パスワード) フィールドにパスワードを入力し、[Confirm Password] (パスワードの確認) フィールドにパスワードを再入力します (最大 64 文字)。
5. [User Group] (ユーザ グループ) ドロップダウン リストからグループを選択します。このリストには、システムによって定義されているデフォルト グループに加えて、ユーザによって作成されたグループを含むすべてのグループが表示されます。デフォルト グループは、デフォルト設定である [Unknown] (不明)、[Admin] (管理者)、[Individual Group] (個別グループ) です。
6. 新規ユーザを有効にするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。デフォルトはアクティブ状態 (有効) です。
7. [OK] (OK) をクリックします。

ステップ 5: KSX II リモート コンソールを起動する

▶ **KSX II リモート コンソールを起動するには、以下の手順に従います。**

1. KSX II にネットワークを介して接続でき、Java Runtime Environment® (JRE) がインストールされている、任意のコンピュータにログインします (JRE® は **Java の Web サイト** <http://java.sun.com> から入手できます)。
2. サポートされている Web ブラウザ (Internet Explorer® や Firefox® など) を起動します。

3. Web ブラウザのアドレス ボックスに「<http://IP-ADDRESS>」と入力します。IP-ADDRESS は、KSX II に割り当てられた IP アドレスです。また、HTTPS を使用することや、管理者によって割り当てられた KSX II の DNS 名を使用することもできます (DNS サーバが設定されている場合)。IP アドレスをそのまま入力してもかまいません (KSX II では常に IP アドレスが HTTP から HTTPS にリダイレクトされます)。[Login] (ログイン) ページが開きます。
4. ユーザ名とパスワードを入力します。[Login] (ログイン) をクリックします。

リモートからのターゲット サーバのアクセスと制御

KSX II の [Port Access] (ポート アクセス) ページには、すべての KSX II ポート、接続中のターゲット サーバ、ターゲット サーバの状態およびその可用性が表示されます。

ターゲット サーバにアクセスする

▶ **ターゲット サーバにアクセスするには、以下の手順に従います。**

1. アクセスしたいターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが開きます。
2. [Port Action] (ポート アクション) メニューの [Connect] (接続) をクリックします。[KVM] ウィンドウが開き、ターゲットへの接続が示されます。

ターゲット サーバの切り替え

▶ **KVM ターゲット サーバを切り替えるには、以下の手順に従います。**

1. ターゲット サーバを使用しているときに、KSX II の [Port Access] (ポート アクセス) ページを開きます。
2. アクセスするターゲットの [Port Name] (ポート名) をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。
3. [Port Action] (ポート アクション) メニューの [Switch From] (切り替え元) を選択します。選択した新しいターゲット サーバが [Virtual KVM Client] (仮想 KVM クライアント) ウィンドウに表示されます。

ターゲット サーバの切断

▶ **ターゲット サーバを切断するには、以下の手順に従います。**

1. 切断するターゲットのポート名をクリックします。[Port Action] (ポート アクション) メニューが表示されます。
2. [Disconnect] (切断) を選択します。

その他の情報

KSX II および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.com) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、ソースコードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。